

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	社会福祉協議会関連事業			事業番号	011-048
担当部署名	健康福祉	局	生活福祉	部	地域共生推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(3) 市民の参加と協働による地域福祉の充実		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①包括的な相談支援体制の構築				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—	
		寄与するKPI	有	取組	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3		
2 関連計画		第4次堺市地域福祉計画、堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和3（2021）～令和5（2023）年度）、堺市地域包括ケアシステムの推進に関する施策に係る総合的な計画							
3 事業開始年度		平成 2 年度		点検対象年度		令和 7 年度			
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		堺市ボランティアネットワーク推進事業補助金交付要綱、社会福祉法							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、堺市社会福祉協議会		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	○ボランティアネットワーク推進事業：市民 ○コミュニティソーシャルワーカー設置業務：要支援者、地域福祉活動団体	対象数	単位
		817,441		人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺市社会福祉協議会が実施する「ボランティアネットワーク推進事業」に対して補助を行い、地域福祉の推進を図ること。堺市社会福祉協議会区各事務所が専門相談機関として、個別課題の対応に専門性をより発揮できる環境の形成を図り、見守りや声かけなど、近隣住民や地域の力を借りて、支援を必要とする人ができるだけ地域生活を維持・継続できることをめざす。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	社会福祉協議会が行う、ボランティアネットワーク推進事業に対して補助を行い、ボランティア相談コーナーの円滑な運営等、ボランティア・市民活動の推進を図る。 堺市社会福祉協議会区各事務所に地域福祉をすすめるキーパーソンとして、コミュニティソーシャルワーカー(以下「CSW」と表記)を設置し、小学校区では生活課題の発見・支援、地域福祉活動の促進、複数小学校区ではソーシャルサポートネットワークの形成、区では事業開発や専門機関・団体のネットワーク形成などのCSW機能を実践し、各圏域の機能をつなぎ、地域福祉を総合的に推進する。 平成22年度に全市的に配置し、平成29年度以降、日常生活圏域コーディネーターとして生活支援コーディネーターと一体的に実施している。		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	社会福祉法人堺市社会福祉協議会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
11 ボランティア活動登録者数	件	目標値	12,000	12,000	12,000	—
		実績値	11,551	10,914		
		達成率	96%	91%		
当該指標を選定した理由		ボランティア活動に参加する人が増加することで互助・共助の仕組みの構築につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		過去実績に基づき、目標値を設定				
12 相談に対する支援回数	人	活動指標(成果を上げるための手段)	実績		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		目標値	2,800	2,800	2,800	
		実績値	2,775	3,112		
当該指標を選定した理由		・CSWが当事者の課題整理、関係機関との情報共有や協力体制を構築することで専門相談機関が個別課題の対応に専門性をより発揮できる環境の形成につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		7区×400件				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	社会福祉協議会関連事業	事業番号	011-048
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	46,678	60,776	68,757	61,494	69,631
財源					
国支出金	23,607	34,661	41,617	35,611	38,235
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 (地域福祉推進基金)		26,115	27,140	25,883	31,396
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	23,071	0	0		0
14 人件費 (b)	2,460	2,460	2,460	2,460	2,430
15 年間経費(c)=(a)+(b)	49,138	63,236	71,217	63,954	72,061

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源
	R5 予算	17,934	0		R5 予算		
コミュニティソーシャルワーカー設置業務	R4 決算	51,849	0		R4 決算		
	R5 予算	51,697	0		R5 予算		
	R4 決算				R4 決算		
	R5 予算				R5 予算		
	R4 決算				R4 決算		
	R5 予算				R5 予算		
	R4 決算				R4 決算		
	R5 予算				R5 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 相談に対する支援回数	人	2,775	3,112
② 上記①にかかる年間経費	千円	53,032	51,849
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	19,111	16,661
備考 (算出についての説明等)		事業のうち、コミュニティソーシャルワーカー設置業務に対するもののみ	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 <ボランティアネットワーク推進事業補助>堺市社会福祉協議会が行う、ボランティア推進事業へ補助を行った。
ボランティア情報センター事業（相談件数：614件）、ボランティア体験促進事業、ボランティア保険料助成事業（助成金交付通知：109件）、災害時ボランティア活動啓発事業を実施。

18 <コミュニティソーシャルワーカー設置業務>
目標値を達成している。特に課題が複雑、複合化している市民に対しては、課題の把握や支援に費やすアプローチ回数や面談の時間を多くするなど、1人1人丁寧に対応を行っている。日常生活圏コーディネーターとして、生活支援コーディネーターとの一体的な配置を進め、体制を拡充していることにより、関係機関や地域支援者からのCSW認知度・信頼度は高まっている。複合した生活課題を抱える市民は増加しており、各関係機関と協働し、支援する必要性から事業の費用対効果は高い。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 人口減少、高齢化、価値観やライフスタイルの多様化など社会構造の変化により、地域生活に関する課題は複雑になり、多様化・深刻化している。このような中、市民が住み慣れた地域で自立し、安心して暮らし続けるためには、地域全体で支える互助・共助によるつながりをもった支援が重要である。社会福祉法において地域福祉の推進を図ることを目的とすることが明記されており、地域住民からの認知度・信頼度が高く、発足以来本市の地域福祉への多様な取組を通じて必要な知見を有している社会福祉協議会が行うボランティアネットワーク推進事業を補助することで、ボランティア活動による地域住民のつながり強化、住民自治の推進及び包括的な相談支援体制の構築に寄与し、市内の地域福祉の推進が図られる。

また、上記のとおり地域生活に関する課題が複雑（急速な少子高齢化の進展、家族機能の低下、障害者の地域生活への移行など）になり、支援を必要とする人の地域生活を支える必要性が増大し、公的なサービスだけでは対応できない制度の狭間の問題や複合的な問題が増加している。そのような中、地域福祉をすすめるキーパーソンとして、CSWを堺市社会福祉協議会区事務所に設置し、小学校区では生活課題の発見・支援、地域福祉活動の促進、複数小学校区ではソーシャルサポートネットワークの形成、区では事業開発や専門機関・団体のネットワーク形成などのCSW機能を実践し、各圏域の機能をつなぎ、地域福祉を総合的に推進することで、取組の方向性である包括的な相談支援体制の構築に寄与している。